

『単純血漿交換施行時における 施行条件が与える回路交換への影響』 に対するご協力のお願い

研究の目的と意義	単純血漿交換（PE:Plasma Exchange）は血漿分離膜というものを使って、血液から血漿という成分を分離・破棄し、代わりに新しい血漿を補充する血液浄化療法のひとつです。本研究により、この治療をより安全に患者さんに提供できるようなることが期待できます。
研究の方法	当院にて単純血漿交換による治療を受けた患者さんのデータを診療録および施行記録から収集します。
対象者	2009年5月から2024年3月までに当院の集中治療室（EICU/EHCUおよびICU）で単純血漿交換を施行した成人症例および集中治療室（ICU）・小児病棟にて単純血漿交換を施行した小児症例のうち、置換液を新鮮凍結血漿（FFP）としたもの。
利用する試料/情報	<p>研究対象者情報：性別、治療実施時の年齢・体重、原疾患名、担当科</p> <p>血液データ：白血球、赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板、AST, ALT, LDH, ALP, 直接型ビリルビン、間接型ビリルビン、総蛋白、アルブミン、γGTP, 総コレステロール、中性脂肪、BUN, Cr, Na, KCl, 血糖（グルコース）、CRP, アミラーゼ, アンモニア、血沈、ハプトグロビン、pH, PCO2, HC03, Base Excess, PT, APTT, ヘパプラスチンテスト、フィブリノーゲン、D-ダイマー、AT-Ⅲ, FDP, フェリチン, IgG, IgA, IgM のうち、カルテの検査項目一覧に既に記載されているもの（新規取得は行わない）。</p> <p>血漿交換施行に関連する項目：施行年月日（開始日時・終了日時）、施行回数、置換液量、血液流量、分離速度、分離%、抗凝固剤の種類・投与量、回路交換の有無および回路交換の理由、併用した他の血液浄化療法名と接続方法</p>
利用する試料/情報の取得方法	単純血漿交換施行記録および診療録より取得
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 臨床工学部 山田麻有佳 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	研究結果は集中治療医学会会誌等にて報告予定です。また、集中治療医学会・小児肝臓研究会・肝臓学会・小児科学会・小児救急医学会・急性肝不全研究会等での報告を検討しています。公表する際には、研究対象者を識別することができないよう配慮いたします。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2028年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 臨床工学部/臨床工学技士/山田麻有佳
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 臨床工学部/山田麻有佳